

西浦校区コミュニティ協議会だより

電話：73-8641 ファックス：73-8648

平成28年7月1日 第7号



七夕飾り作り(サロン)

6月のサロンで七夕飾りを作りました。今年もセンターの入り口に飾ります。



七夕について

7月7日は七夕です。七夕の行事は、中国から伝わり奈良時代に広まった「牽牛星（けんぎゅうせい）」と「織女星（しょくじょせい）」の伝説と、手芸や芸能の上達を祈願する中国の習俗「乞巧奠（きつこうでん）」が結びつけられ、日本固有の行事となったものだそうです。

短冊を笹（竹）に下げて飾る七夕飾りは、江戸時代に寺子屋で学んでいた寺子たちが、習字の上達を願って短冊に書いたのが始まりだそうです。笹は根強く繁殖力・風雪寒暖にも強いので、その生命力と神秘を兼ね備えた笹（竹）は昔から神事などにも使われてきました。また笹の葉の擦れ合う音は神様を招くとされ、神聖なものとして扱われます。ですから七夕の願い事も神聖な笹につるすようになりました。最初は機織や縫製の上達を願っていたものが、芸事・書道の上達も加わり、現在ではもろもろの願い事がされるようになりました。



吹き流し:織姫の織り糸を表しており、五色を用いて魔除けの意味もあります。紙風船かくす玉に五色の紙テープを適当な長さに切って貼りつけます。

五色・・青(木), 赤(炎), 黄(大地), 白(大地に埋まる金属), 黒(命を育む)

網飾り:魚を捕る網を表しています。豊年豊作大漁の願いを込めて飾ります。

折鶴(千羽鶴):長寿を願い、長寿のシンボルである鶴を折り紙で折ります。

神衣(かみこ):紙の人形(着物)を飾ると、裁縫が上達し、着るものに困らなくなるといわれています。災いを人形に移すという意味もあります。

財布(巾着):金運上昇を願い、折り紙で折ったり、本物の財布を下げたりします。

くずかご:ものを粗末にしないという意味で、七夕飾りを作る時に残った紙くずを、折り紙のかごに入れてつるします。